

平成 30年 2月28日

3月号 (No.2813)

美中通信

《学校教育目標》

努力 協力 人間力

健康で、自ら学び、考え、努力する生徒を育てます。【知】【体】

互いに思いやり、協力し合い、自他を尊重できる生徒を育てます。【徳】【公】【関】

学校 HP <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/utsukushigaoka/>
学校 e-mail y2utsukus@edu.city.yokohama.jp

横浜市立美しが丘中学校

学校長 高橋 和則

Tel 901-9649 Fax 904-23

たんばばや 日はいつまでも 大空に

表題は、のどかなで平穏な春の情景が浮かぶ中村汀女の句ですが、韓国・平昌(ピョンチャン)で2月9日から始まった冬季オリンピックでは、数々の名場面を残し、晴れやかに25日閉会式を迎えました。4年前の美中通信(H26年1月27日 No.2511号)では、ソチ・冬季オリンピックにスーパー中学生と言われ出場した平野歩夢選手のことを書きましたが、今回の平昌では昨年練習中に重傷を負ったにもかかわらず、スノーボード男子ハーフパイプ競技で2大会連続銀メダルをとり大きく成長した彼の活躍、そしてインタビューでの返答を見聞きすることができ、再び胸を熱くする思いがしました。今回の大会、メダルの個数や種類以上に多くの選手の様々なドラマが生まれ、ライバルがいたからこそ記録に挑むことができた競技、個よりもチーム力の強さを見せつけられた競技等、見応えある大会だったと感じました。3/7 から始まる冬季パラリンピックもどんな感動を見せてくれるか、大いに楽しみにしたいと思います。

ところで、大学入試センター試験でムーミンの問題が話題になり、出題が適正か否かが議論されました。これに対し、2/19 付け日経新聞朝刊のコラム「ダイバーシティ進化論」(OECD 東京センター長 村上由美子氏)に次のことが掲載されていたので紹介します。

ムーミンの舞台の国を問う大学入試センター試験の出題が物議を醸した。様々な指摘があるが、要は明確な正解がない可能性がある点が問題視された。実は近年、世界の教育現場では正解が一つとは限らない、あるいは正解が存在しないかもしれないことを子どもたちに気付かせようとする動きが盛んだ。その意味では、ムーミンの問題も択一でなく記述式の解答を求めたのなら、受験生の思考プロセスを査定する設問として良問だったかもしれない。

暗記中心ではなく、問題提起力、コミュニケーション力、自主性や創造性を育成すべく、アクティブ・ラーニング(AL)などの教育方法を導入している国は多い。知識の獲得だけでなく、その知識をどう応用させていくか。情報量と不確実性が急増するデジタル社会で生きていく若者が、異なる価値観を認めながらも、主体的に判断する力をいかに養っていくか。このような議論は、日本の教育関係者の間でも盛んだ。(途中省略)

膨大な情報や知識が瞬時にネットから得られる時代。経済のボーダーレス化、グローバル化はますます進む。21世紀の日本に必要なのは、多様な世界観に対する寛容性と自由な発想力を備えた人材であろう。(以降省略)

新たなアイデアをクリエイティブに発想していくには、多くのインプットを可能とする土台としての「寛容」こそが重要との認識に立って、学校でもここに書かれているような内容を念頭に、現在教育指導に取り組んでいるところです。今回のオリンピックに出場した小平奈緒選手(500mスピードスケート)は、ソチ・オリンピック後に単独でオランダに武者修行に行き、これまで信じていた自分のフォームの修正やON-OFFの切り替えに「寛容」な心で受入れ、その上に帰国後自分で考えた練習方法を取り入れた結果、見事な成果を出しました。21世紀の日本に必要なこととして寛容性と自由な発想力にもう一つ加えたら、私は小平選手が自分自身のことを「(氷上の)求道者」と答えたように「探究心」ではないかと考えます。理想を追い求めている彼女に、「ゴールはどこですか?」とインタビューしたところ、「駆け抜けている途中なので、今はまだゴールが見えてきません。」と答えるほど、高みを求めて滑走する彼女を心より称賛したいと思います。

さて、日々文武両道で取り組んでいる美中生の皆さんも、AL等を通して「寛容性」と「自由な発想力」を育み、小平選手にならって、さらに「探究心」をもって10代を駆け抜けてほしいです。誰に遠慮することなく、豊かなコミュニケーションを活用して、すばらしい21世紀を築いてください。そんな美中生を先生方は、いつも応援していますので…。

第10回 学校運営協議会報告 (2/14)

公立高校の入試日に行った今回の協議会では、はじめに「美中ブロック学校運営協議会」について、その目的や進め方について説明し、理解を求めました。美小、美東小では、「まち懇(※1)」があり、美中では従来の「学校運営協議会」がありますが、今回の美中ブロック学校運営協議会は、その組織を残したまま、3校、保護者、地域住民と連携し、小中一貫教育目標の具現化を主テーマにした学校運営改善(支援、評価等)を発展的に行っていく旨を説明し、了承されました。

続いて行った美中学校運営協議会では、①後期学校評価アンケートの結果説明(保護者向けには配布済み) ②「新たな中期計画の基本的方向(※2)」の説明 ③平成29年度学校評価報告書の内容説明と意見集約 が中心でした。特に③は、前年度に比べ自己評価結果が厳しすぎるのではないかと、具体的取組内容に対して評価したほうがよいといった意見をいただきました。最後に、学校支援行事(職場体験、職業インタビュー等)へのお礼と報告会開催の案内をし、終了しました。 ※1:「まち」とともに歩む学校づくり懇話会 ※2:横浜市基本構想の実現を目指していくための市の総合計画

平成29年度 3月

横浜市立美しが丘中学校

日	曜	授 業						昼食	部活	特別活動 生徒関係行事	PTA・その他	カウンセラー	清掃
		1	2	3	4	5	6						
1	木	15	16	17	18	総合		■	×			○	普
2	金	11	10	9	8	7		■	×	一斉下校 14:55	PTA実行委員会		普
3	土												
4	日												
5	月	3送会	4	3	2	1		■		3年生を送る会 教育相談④			普
6	火	道	15	13	14	12		■			部活動支援会 16:30		普
7	水	24	25	21	22	23		■		専門委員会 14:55			普
8	木	16	17	卒業式予行		卒業式準備		■		卒業式予行・準備		○	普
9	金	第39回 卒業証書授与式						×	再登校	第39回卒業証書授与式			×
10	土												
11	日												
12	月	道	1	2	3	4		■		評議会 14:55 小中情報交換会 16:00			普
13	火	19	20	18	総合			■					普
14	水	7	8	9	総合			■					普
15	木	10	11	12	学活			■				○	普
16	金	13	14	15	16			■					普
17	土												
18	日												
19	月	5	6	総合				×	×	一斉下校 13:00			簡
20	火	19	20	総合				×					簡
21	水									春分の日			
22	木	学年集会	大掃除					×		大掃除			大掃除
23	金	修了式 離任式	学活					×	×	修了式 一斉下校 11:00 部活再登校 14:00			×
24	土												
25	日												
26	月								×				
27	火												
28	水												
29	木												
30	金												
31	土												

最終下校時間 5時30分

授業日数 16 日

【 4月の主な予定 】

5日 着任式・始業式
入学式
6日 離任式
9日 新入生歓迎会
10日 身体計測

17日 3年全国学力学習状況調査
1年 校外学習
20日 学校説明会
部活動保護者説明会

☆ 4月の昼食なし 4/5・4/6 (1年 4/17日) ☆